



令和2年12月28日

柳町保育園 NO9

師走も押し迫り、新年に向けてカウントダウンが始まりますね。

新型コロナに振り回された「ねずみ年」でしたが、来年は少しでも収束に向かってほしいものです。行事や保育が変更になり、我慢がまん年でしたが、保護者の方々のご理解とご協力のおかげで、何とか乗り越えてくることができました。一番の功労者は「子ども達の力」です。子ども達のおかげで、職員も頑張れました。感謝感謝の思いがいっぱいです。ありがとうございました。

クリスマスが終わり、保育園の中は新年を迎える準備が始まりました。

「餅つき」

くま・ぞうぐみさんに餅つきをしてもらい、保育園の「鏡餅」を作りました。餅つきを初めてみる子ども達もいて、もち米がお餅になっていくのをワクワクで見っていました。初めての杵に悪戦苦闘をしながらも、上手に振り下ろしていました。中には、力が余って臼のへりをたたいてしまう場面もありましたが、愛嬌です。杵に餅がくっつくので、子ども用の杵でも重くなります。顔を真っ赤にして奮闘する子もいて、微笑ましい光景でしたよ。なかなか「餅つき」を見る機会がないので、子ども達には日本のお正月準備の風習を感じてもらえたら嬉しいです。

さて、年の瀬は、一年で一番あわただしい時季でもあります。ワクワクする時期でもあります。

一年を振り返り、行く年に思いを込める年に願いを込める時季です。コロナが落ち着いていたならば、本当は年長のぞうぐみさんに、しめ飾り選びや買い出しをお願いしたかったところです。新しい年を迎える準備は、大事な日本の伝統文化です。日本人として文化の継承をしてほしいと願っています。



鏡餅としめ飾りをかざって、今年の保育の最後とします。

来年こそコロナが終息に向かい、子ども達と楽しいことがたくさんできることを期待しています。良いお年をお迎えください。そして来年もよろしく願いいたしますね。